

## 第5回 開発霞ワークショップの概要

日時・場所

平成26年1月14日（火）15:00～17:00

東温市役所403会議室

### 第4回ワークショップの検討結果および今回の検討課題

ファシリテーターの二神先生と事務局の方から、第4回ワークショップの検討結果および、今回の検討課題である、「開発霞自然再生の整備内容」、「開発霞整備後の維持管理・利活用」について説明がありました。

#### 意見交換

「開発霞自然再生の整備内容」については、今回のワークショップ参加メンバー18名での全体討議を、「開発霞整備後の維持管理・利活用」については、3班に分かれ意見交換を行いました。



1班の議論



2班の議論



3班の議論

#### 意見交換の総括

全体討議および各班に分かれての意見交換結果について、ファシリテーターの二神先生より、総括として以下のコメントを頂きました。

##### ◇開発霞自然再生の整備内容について

- ・開発霞の整備内容については、今回提示した内容に、本日頂いた意見（泉の湧水位置、既設水路合流部の取付け線形等）を反映させるということで決定とします。
- ・また、今後は、工事やモニタリングを行いながら、問題が起きればフィードバックし、考えていきたい。

##### ◇開発霞整備後の維持管理・利活用について

- ・整備が完了する今後3年間の間に、年に1回揃って、整備内容、利活用、維持管理、モニタリングについて議論を頂くようになると思います。その時には、ぜひ色々なアイデア等のご意見を頂ければと思います。
- ・とくに、今回は維持管理について、今後誰がどういったという具体的な意見は出なかった。まだ、時間がありますので、皆さんの色々な立場から考えておいて頂きたい。
- ・維持管理の仕組みが無いと、せっかく出来上がったものも、良いものでなくなってしまうので、また、皆さんと一緒に考えていければと思います。



1班の発表



2班の発表



3班の発表

『開発霞自然再生の整備内容』について全体討議の意見集約

整備方針① 上流の泉、ジャブジャブ池（散策道）について		
武井氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(資料 11 p) ボックスカルバートの位置について、松原泉では中央に配置しており、水の湧いてこない東淵部分が淤んでアオコが発生したり、外来のものが繁殖しやすくなったり、あまり好ましくない状態になっている。それを考えると東側へ寄せた方がいいのではないか？</li> </ul>	⇒ボックスカルバートの位置を、横断図で見ても <b>80cm</b> の深い部分の一番右側にずらす形で見直します。
整備方針② 小川（水路）の構造について		
三宅氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(資料 17 p) A-A 断面、B-B 断面では既設護岸が残っているが、できるだけ土にした方がいい。なぜ既設護岸を利用する形になっているのか？</li> </ul>	⇒B-B 断面では上村大橋のピアがあり、既設の護岸をあまり広げたくないのもので、そのまま生かして、周りで自由に流れて変化をつけてもらいたい。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・B-B 断面ではほとんど変化がないということですか？</li> </ul>	⇒上流の水路から出水期にはかなり水が入ってくるので、その時の流水の洗掘等で多少形状が変わってくると思われる。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できる限り護岸でない方が、ここの護岸は状況が悪い。駐車場が一番近く、ワンド部分があるので、子供たちがアクセスできるように、可能なら少し工夫した方がいい。</li> </ul>	
津川氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャブジャブ池の西に入っている上村からの水路はもう少し西に、直線に入るようにしなければ、水が多く泥水が回ってくるので、すぐに溜まってしまう。</li> </ul>	⇒今は直角に近い形になっているので、下流側へ摺り付ける形で検討していきたい。
清水氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川との合流部分で、たくさんの礫があって、階段を設けないと傾斜を解消できないということですが、もう少し傾斜の始まる部分を後ろにした方がいい。勾配がどれぐらいになるかわからないが、階段式魚道の間隔が短いと、溜まりがあまりなく、休む場がない。</li> </ul>	⇒今は <b>1/25</b> 勾配です。これは松原泉の合流箇所とほぼ一緒で、距離が長くなるイメージです。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少し変則的にたまりの区間距離を短くしたり長くしたりして、ある程度行ったら休める場所があるといい。</li> </ul>	⇒わかりました。

整備方針③ 橋、散策道、ソフトボール場からの転落防止について		
岩本氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>ランニングコースで整備するということですが、散策道はあまり広くないので、走っていると散策している人とぶつかるかもしれない。野鳥観察で静かに見ているところを走られると鳥が逃げてしまう。ランニングコースと散策との両立はできないと思う。ここは散策を優先させて、ランニングは外を走ってもらうようにしてほしい。</li> </ul>	⇒保全するところは自然観察にいいでしょうし、事故を未然に防ぐということでは、あまりランニングコースは考えない方がいいかもしれない。
三宅氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>道幅はどれぐらいですか？</li> </ul>	⇒1.5～2.0mです。舗装は景観も配慮したカラーの簡易な舗装です。 ⇒ランニングコースは明示しないで、散策道という形にします。

整備方針④ 樹林について		
相原氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハナミズキを植える意味は？この辺りには自然に生えていなかった。</li> </ul>	⇒ハナミズキについては前回議論し、在来種ではないが東温市の花ということで、PRする場として数本植えて説明も加えていきたいと考えています。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>マツが一切出てこないが、昔は表川から重信川の手前までマツ林があり、それに併せてコナラ、クヌギ、その他雑木が多様性をもって生えていた。大事なことは、その地域の人々がそれと深い関わりをもって接触していたということで、施設、設備をいっぱい造って公園風になっていくことをあまり考えないでいただきたい。ぜひマツをいくらか再生してほしい。</li> <li>昔は今ゾーンになっている部分（資料 20 p）についてはほとんどマツ林でした。</li> </ul>	⇒マツについては、今後の実施設計で植栽計画について検討していくと思うので、マツを加えていきたいということで検討していきたい。

【整備後の維持管理・利活用について】議論結果

参加メンバー	集約意見（発表内容）
<p>【1班】</p> <p>愛媛県水産研究センター 清水さん                      水をきれいにする会 武井さん                      日本野鳥の会愛媛 岩本さん                      重信川河川愛護モニター 中村さん                      南吉井小学校 古川さん                      国土交通省 関谷さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●『自然観察会』                              実施時期：夏を除く通年                              提案内容：昆虫観察会、野鳥観察会、虫さがし（夏・秋）、魚など先生による説明会（小中学生対象）                              対応方針：再生の過程を観察し記録していく活動⇒成功した点、失敗した点のはっきりわかる。                              イベントスケジュールの告知を充実。                              インフォメーションボードの充実。                              はぐくむ会等のHP等で見どころを紹介する。</li> <li>●『地域の特色を生かしたお祭り、地域イベント』                              実施時期：夏                              提案内容：地域のお祭り、ドジョウ汁を味わう会、水辺で遊ぶイベント                              対応方針：イベントポストを設置し、訪れた人からアイデアを募る。</li> </ul>
<p>ワークショップ状況</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●『創作活動』                              実施時期：通年                              提案内容：句会（比較的高年齢の方）、石を使った工作、写生大会（低年齢から）</li> <li>●『清掃活動』                              提案内容：どこでもやっていることなので、楽しくできればいい。</li> </ul>
<p>メンバーによる意見交換</p>	
	
<p>清水班長による意見発表</p>	

参加メンバー	集約意見（発表内容）
<p>【2班】</p> <p>愛媛大学 二神さん  重信川美化推進の会 武智さん  東温高等学校 棟田さん  拝志小学校 篠崎さん  上村土地改良区 津川さん  愛媛県 馬越さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●『生涯学習の場』  提案内容：川を汚さないための工夫を学ぶ、(小学生～大人対象)、水質調査（高校生対象：夏休み）  対応方針：ゴミを捨てないでという啓蒙の看板を設置（小学生に描いてもらう）</li> <li>●『自然観察会』  実施時期：夏、秋  提案内容：魚・植物・鳥・昆虫などの観察会、昆虫採集、自然観察（秋を探そう）（小中学生対象）、  どんぐり拾い（幼児対象）、自然観察会の発表  対応方針：子供たちだけでなく、ドングリを拾って、地元の方との交流の場として活用。  どんぐり拾いの袋を渡すことで交流（地域の女性の方にふくろを作ってもらうことで連携）  昆虫が集まってくるような土壌を合わせて整備していく。（虫が育つ空間づくり）</li> </ul>
<p>ワークショップ状況</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●『創作活動』  実施時期：通年  提案内容：俳句会、写真撮影会（大人対象）、写生大会  対応方針：いろんなイベントやはぐくむ会のフォーラム等で賞をあげたり、作品展示を行うなどして交流を図る。</li> <li>●『3回生歓迎コンパ』  対象：大学生（20歳以上）  提案内容：大学職員と学生との交流会（清掃活動を含む）  対応方針：大学でバスをもっているの、バスを利用して移動。  交流の場としてバーベキューなどをした後、清掃してから帰る。</li> </ul>
<p>メンバーによる意見交換</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●その他の意見 <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備ができてから利活用を考えてもいいのでは？</li> <li>・維持管理の問題が出てくるのでは？</li> </ul> </li> </ul> <p>※維持管理について  実際の整備が終わるまでに3年あるので、その中で一番大事な維持管理の問題を考えたい。</p>
<p>二神班長による意見発表</p>	

参加メンバー	集約意見（発表内容）
<p>【3班】</p> <p>愛媛大学           三宅さん 重信くらしの学習会   菊池さん 自然と共に生きる会   相原さん 重信中学校           池川さん 上村自治区           石丸さん 東温市                丹生谷さん</p>	<p>●『水生生物調査、昆虫採集』</p> <p>実施時期：通年</p> <p>提案内容：水生生物観察会、水生生物調査、昆虫採集（夏休み）、自然観察、魚のつかみ取り（小学生対象）、</p> <p>対応方針：広報などで告知し、参加者を募集する。</p> <p>ただ捕まえるだけではなく、昔のように食べてみるなどしてもいい。</p> <p>重信川エコリーダーなど子供たちに年の近い大学生などに案内してもらおうと子供たちは喜ぶ。（大学生の調査・研究）</p> <p>子供中心にやってもらうのもいい。</p> <p>授業の一環ではなく、イベントに興味を持った人が集まるようになってほしい。</p> <p>最終的には、地元の子供たちに自分たちの霞・公園なんだという意識をもってもらうことが、長期的な管理につながるだろう。</p>
ワークショップ状況	
	<p>●『泉探検』</p> <p>提案内容：開発霞周辺の泉を探検する</p> <p>対応方針：地元の詳しい方や泉の専門家の方に案内してもらい、泉の使われ方や歴史などを教えてもらう。</p> <p>●その他の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まずはアピールしていくことが一番。</li> </ul> <p>※維持管理について</p> <p>魅力的なイベントをどんどんやって人を集めて、その集まった人の中から維持管理の話になればいいだろう。</p>
メンバーによる意見交換	
	
三宅班長による意見発表	